

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2021/12/31	2022/7/31	2022/7/29	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	28,791.71	27,801.64	27,801.64	30,795.78	2021/9/14	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	36,338.30	32,845.13	32,845.13	36,952.65	2022/1/5	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	115.08	133.27	133.27	139.39	2022/7/14	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～米長期金利の低下を受けて円高ドル安が進行したことから下落～

先週の日本株市場は、日経平均が▲113.02円(▲0.40%)、TOPIXが▲15.66ポイント(▲0.80%)となり、米長期金利の低下を受けて円高ドル安が進行したことから下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、鉱業、石油・石炭製品、陸運業などの11業種が上昇した一方、輸送用機器、パルプ・紙、電気機器などの22業種が下落しました。週前半は、週中にFOMC(米連邦公開市場委員会)を控えて様子見姿勢が強まる中、先々週末に発表された米PMI(購買担当者景気指数)の悪化による景気後退懸念の広がりから米国株市場が下落した流れを引き継ぎ、軟調に推移しました。週中27日は、米ハイテク大手の好決算を受けて日本の取引時間中の米株株価指数先物が堅調となったことなどから上昇に転じ、翌28日も前日のFOMCの結果が想定範囲内であったことへの安心感などから続伸しました。週末29日は、前日発表された米GDP(国内総生産)がマイナス成長となったことを受けてFRB(米連邦準備理事会)による利上げが減速するとの見方が広まったことを背景に米長期金利が低下し、円高ドル安が進行したことなどから下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
8月1日	Mon	中国	財新製造業PMI	7月	51.7
		欧州	ユーロ圏失業率	6月	+6.6%
		米国	ISM製造業景況指数	7月	53.0
8月3日	Wed	中国	財新サービス業PMI	7月	54.5
		欧州	ユーロ圏小売売上高(前月比)	6月	+0.2%
		国際	OPEC(石油輸出国機構)プラス閣僚級会合		
8月4日	Thu	米国	製造業受注(前月比)	6月	+1.6%
		米国	ISM非製造業景況指数	7月	55.3
		英国	BOE(イングランド銀行)金融政策委員会		
8月5日	Fri	ドイツ	製造業受注(前月比)	6月	+0.1%
		米国	貿易収支	6月	▲855億ドル
		日本	景気一致指数	6月	94.9
		ドイツ	景気先行CI指数	6月	101.2
		ドイツ	鉱工業生産(前月比)	6月	+0.2%
		米国	非農業部門雇用者数変化	7月	372千人

決算発表予定 他	国内	海外
	決算発表 :	8/1 小野薬、アステラ薬、塩野義薬、TDK、住友化、大塚商会、JAL、JSR、京セラ、ヒロセ電機、ANAHD、大カス 8/2 三井物、三菱商、AGC、MUFG、ダイキン、JR西日本、東電HD 8/3 大東建、川崎汽船、住友商、スバル、オリックス、花王、住友電工、ZHL、阪急阪神H、三菱ケミカル、コトダ、JFEホールディングス、ヤマハ、小林製薬、野村HD、日本郵船、CTC、リコー、任天堂 8/4 日本製鉄、ソフトバンク、コナミグループ、協和キリン、トヨタ、TIS、スクエニ、ユニチカ、キョーマン、HOYA、日清食品H、旭化成、シスメックス 8/5 丸紅、伊藤忠、大成建設、スズキ、三菱地所、ミネベア、SOMPO、いすゞ自、ヤマハ発、東京海上H、レーザーテック、三菱重、NTTテ、島津製作所、凸版印刷、エーセイ、MS&AD、ハンダイナムホールディングス、シャープ
		8/1 HSBBCホールディングス、ハイネケン、アフラック 8/2 BP、キャタピラー、ウーバー、キリアド、アドバンスト・マイクロ・テクノロジ、ヘイバル、フルデンシャル、スターバックス、エアビーアンドビー、ユニバー 8/3 アクサ、BMW、コメルツ銀、ソシエテ・ジェネラル、モデルナ、リジェネロン・ファーマ、イー・ベイ、メットライフ 8/4 メルク、バイエル、クレディ・アグリコル、INGグループ、アリババグループ、イライリリー、リフト、ウィーク、トアタツシ 8/5 アリアンツ、ウェスタンジェタル

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～業績の底堅さが買い安心感に繋がるも、米国景気の減速懸念や円高進行が上値を抑える展開～

今週の日本株市場は、業績の底堅さが買い安心感に繋がるも、米国景気の減速懸念や円高進行が上値を抑えるとの予想です。先週までの国内企業の4-6月期決算は、市場予想をやや上回る底堅い内容が示されていますが、今週発表の自動車セクターなどが市場予想並みの結果となれば一定の買い安心感に繋がるとみられています。一方、今週は米国において1日にISM製造業景況指数、3日に同非製造業景況指数、5日に非農業部門雇用者数変化など重要指標の発表が予定されていますが、足元で米景気の減速懸念が高まる中でこれらが弱い内容となれば株価の重しに働くとみられています。また、FRBの金融引き締め観測が後退したことで為替が急速に円高ドル安方向に転じていることもマイナス材料とみられています。なお、FRBの金融政策については、インフレ率の鎮静化には相応の時間がかかるとみらる中で、23年前半にも利下げに転じるとの市場の織り込みは楽観的と考えており、今後FRB高官の発言や物価関連指標の内容次第で金融引き締め懸念が再燃する可能性があるかとみられています。その他の注目材料として、日本では5日の景気先行CI指数、米国では4日の貿易収支、欧州では3日のユーロ圏小売売上高、ドイツでは4日の製造業受注、英国では4日のBOE金融政策委員会、中国では3日の財新サービス業PMI、国際では3日のOPECプラス閣僚級会合などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

URL: <https://www.alamco.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会